

ほんじょう

埼玉県本庄市



NPO法人まちの駅ネットワーク



iPhoneでご利益のある町ほんじょうを遊ぼう!

①アプリダウンロード

下記QRコードから「ご利益のある町ほんじょう」ページにアクセス。
手順に沿ってアプリをダウンロード。



②神社等へ行く

神社等の詳細情報や地図元に、目的地へ向かう。



③QRコード読み取り

神社等に設置されているQRコードを読み取り、スタンプを入手します。



④応募する

全ての神社等を回ると
プレゼントが出来ます。
応募者情報を入力し
てメールを送信。



本庄まちの駅Webページの『ご利益のある町ほんじょう』にアクセス!

<http://www.honjo-machinoeki.com/goriyaku/>

本庄まちの駅

検索



アプリの遊び方、
ダウンロード方法などの
説明が載っています。

アプリ制作提供:(株)グローバルソフトウェア

■本庄へのアクセス

●電車の場合：上越新幹線 JR高崎線

(東京駅～本庄早稲田駅)約50分 (上野駅～本庄駅)特急・快速利用/約70分 普通利用/約90分
(大宮駅～本庄早稲田駅)約25分 (大宮駅～本庄駅)特急・快速利用/約45分 普通利用/約70分
(熊谷駅～本庄早稲田駅)約11分 (熊谷駅～本庄駅)普通利用/約25分
(高崎駅～本庄早稲田駅)約10分 (本庄駅～高崎駅)普通利用/約20分

●車の場合：関越自動車道

(練馬IC～本庄児玉IC)約45分 (川越IC～本庄児玉IC)約30分

定価100円

資料・写真提供:根岸久

ごはんじよふ



もくじ

本庄地域

児玉地域



正観寺	6
普寛さま	4
金鑽神社	8
産泰神社	9
東本庄稻荷神社	10
大正院	11
笑う埴輪	12
七福神	13
城山稻荷神社	14
十二天社	15
岩谷堂	16
借金なし地蔵尊	18
さざえ堂	20
秋山御嶽神社	21
児玉三十三靈場	22
八幡神社	23
日本神社	24
岩谷堂	25
借金なし地蔵	26
十二天社	27
岩谷堂	28
借金なし地蔵尊	15
さざえ堂	16

本庄地域



普寛さま

本庄普寛霊場

厄除け、金運招福

ふかん
さま



身代わり水龜

無病息災祈願の火渡り修法



普寛行者墓碑

本堂向拝の天井にある龍亀の彫刻



普寛靈場の参道



本明院普寛上人墓所



本明院木食普寛靈神を祀る本殿

アクセス

住所:埼玉県本庄市中央3-4-41

徒歩:本庄駅より15分(本庄市役所西)

普寛靈場に埋葬された本明院普寛上人は、享保16年(1731)武藏国秩父大滝村落合で生まれ、青年時代、秩父直新陰流の達人として、剣術に優れておりました。

宝暦4年(1754)二十四歳の時、江戸に出て剣術を学び、老中酒井雅樂頭家に仕えたが、明和元年(1764)三峰神社で天台宗系統の修驗者となり、本明院普寛と名乗ります。厳しい修行の中で、神仏感応の獨特な妙法を会得し、神仏両道の奥義を究めました。普寛行者は諸国行脚を重ねながら、木曾御嶽山、沼田の武尊山、越後八海山などを開きました。

特に、寛政4年(1792)普寛行者は62歳の時、木曾御嶽山の王滝口を開き、「木曾御嶽山開闢の祖」と尊称されています。

享和元年(1801)9月10日、上州藤岡駿で病に倒れ、本庄宿泉町の米屋弥兵衛宅で亡くなりました。享年71歳で墓は現在地に移されておりますが、今でも、本庄市民よりは親しみのある「ふかんさま」と呼ばれております。

算数・学問のご利益あり

第二十番札所

正觀寺

しょうかんじ

(1614)。本尊は聖観世音菩薩座像。児玉三十三靈場第二十番札所。

天明の時代浅間山の大噴火がありました。正觀寺の裏の利根川には多くの犠牲となつた方たちのご遺体が流されてき、弔つたことが記されている碑があります。児玉地域の百体觀音(さざえ堂)も浅間の噴火の犠牲者を弔つて建てたお寺です。



境内には樹齢不詳の黒松の巨木及び櫻の巨木数本が歴史を感じさせます。5月上旬には藤やボタンの花が満開を迎え境内が華やかな季節となります。



「算額と癒しの駅」として

温かいお茶と心温まるお話はいかがでしょうか?



御靈木。黒松の巨木。樹齢不詳。



メキシコ原産のサボテンの種類で龍舌蘭。60年に一度花が咲くといわれております。平成25年に咲きました。あと、59年ないと花が咲かないという夢のある珍しい植物です。

アクセス

住所:埼玉県本庄市都島864

神保原駅から徒歩約36分

縁結びや無病息災など、
よろず相談



金鑽神社

かなさなじんじや

根回り10m、高さ20m。
北関東で最も大きいクスノキ。
(埼玉県指定天然記念物)



総門とされる大門にはみごとな彫刻が施されています。
(市指定文化財)

アクセス

住所:埼玉県本庄市千代田3-2-3

電車:JR高崎線「本庄駅」より徒歩20分

車:関越自動車道本庄児玉ICから国道462号を
本庄市街方面へ進み千代田交差点を右折後すぐ

社殿は流造の本殿と入母屋造りの拝殿を幣殿で繋ぐ複合形式をとり、それぞれの社殿が建築年代と建築様式を異にしており、建築様式の推移を知る事が出来る貴重な建造物であります。

本殿は、享保9年(1724)、拝殿が安永7年(1778)、幣殿が嘉永3年(1850)にそれぞれ建築されており、本殿は一間社流造りで、拝殿は入母屋造り、幣殿は幕末期の建築様式、格天井は、地元本庄宿の武正南盧や小倉紅於らの画家・絵師の手で描かれております。

また、境内にはクスノキの御神木があり、目通り5.1mで、寛永16年に小笠原忠貴が献木したものと伝えられ、埼玉県の天然記念物に指定されております。

金鑽神社は、中山道本庄宿の西端に位置し、本庄宿の総鎮守として、崇敬された神社です。当社は弘治2年(1556)に本庄城を築いた本庄実忠により勧請され本庄領の総鎮守となりました。その後、本庄城主となつた小笠原信嶺の庇護をうけ、中山道の整備に伴つて現在の位置に鎮座したとおもわれます。寛永16年(1639)に小笠原信嶺の孫で、関宿城主小笠原忠貴による社殿寄進に関わる祈願文も残されており、小笠原氏に永く崇敬されていたようです。

社殿は流造の本殿と入母屋造りの拝殿を幣殿で繋ぐ複合形式をとり、それぞれの社殿が建築年代と建築様式を異にしており、建築様式の推移を知る事が出来る貴重な建造物であります。

本殿は、享保9年(1724)、拝殿が安永7年(1778)、幣殿が嘉永3年(1850)にそれぞれ建築されており、本殿は一間社流造りで、拝殿は入母屋造り、幣殿は幕末期の建築様式、格天井は、地元本庄宿の武正南盧や小倉紅於らの画家・絵師の手で描かれております。

また、境内にはクスノキの御神木があり、目通り5.1mで、寛永16年に小笠原忠貴が献木したものと伝えられ、埼玉県の天然記念物に指定されております。

子宝に恵まれる



産泰神社

—さんたいじんじや—

産泰神社の創建は、鎌倉時代の武士団、武藏七党の一党である児玉党の一族四方田五郎左衛門資綱が、この地に砦を築いたときに、守護神として勧請し祀ったのが始まりと伝えられております。

その後、延元二年（1337）に北畠顕家が浅見山合戦の時勝敗を祈願したところ、勝利をおさめることができたので深く感謝し、兜を奉納したそうです。

元禄年間（1688～1704）にはいると、京都吉田家の配下であった宮司の杉田氏が奉仕するようになり、今でもその子孫が代々宮司を務めております。

当社は女性の守護神として広く信仰を集め、毎年四月四日の例大祭には、安産を祈つて底のない柄杓を奉納する参拝者が大勢訪れております。また、宮司が組長を務める金鑽神樂杉田組による太々神樂が奉奏されております。

アクセス
住所 埼玉県本庄市四方田2688-11
徒歩・関越自動車道本庄見玉IC近く

赤鳥居



神楽(本庄市指定文化財)



商売繁盛、五穀豊穰など

ひがしほんじょういなりじんじゃ

東本庄稻荷神社



アクセス

住所:埼玉県本庄市北堀

電車:上越／長野新幹線「本庄早稲田」駅より
徒歩約23分[南口]

男堀川と小山川に挟まれた微高地上に所在する東本庄稻荷神社の祭神は宇迦之御魂大神で、武藏七党の一党で、児玉党の一族、本庄氏の氏神でした。神社周辺は東本庄館跡と推定され、埋蔵文化財も多く残されており、本庄城の前身であると伝えられております。



薬師堂



蚕蛹供養塔



競進社模範蚕室(県指定建造物)



木村九蔵(きむら くそう)
近代的な養蚕法の開拓者で
競進社模範蚕室を建設し、
日本の養蚕業の近代化に尽
くしました。

商売繁盛

大正院

だいしょういん

大正院蚕蛹供養

大正十二年、我が国随一の繭の集散地として栄えたご当地本庄の蚕糸業関係者の呼びかけにより、大正院様の境内に蚕蛹供養塔が建立され、以来毎年五月二十八日に盛大に供養祭が行われております。

その後の蚕糸業の衰退により、業界主催の供養祭は途絶ましたが、大正院にて供養を継続することになりました。

私は偶然にも埼玉新聞社会長(当時)の丸山晃様のおはからいで、この供養塔の存在を知り、平成二十三年に大正院様のご理解とご賛同を得、供養祭を復活することが叶いました。誠に有難く、各位のご指導とお力添えに改めて厚く御礼申し上げます。

富岡製糸場と絹産業遺産群が世界遺産登録となり、地域の蚕糸業の歴史が改めて評価される事になりました。

アクセス

住所 埼玉県本庄市本庄2-14-8
徒歩 本庄駅北口出口から徒歩約7分

見ているとその表情につられて
思わず笑いが…ついほっこり。



小島前の山古墳出土盾持人物埴輪3体
本庄市指定文化財(有形文化財・考古資料)
本庄市立歴史民俗資料館で常設展示。



本庄市のマスコットキャラクター
はにぽん



本庄市立歴史民俗資料館への

アクセス

住所:埼玉県本庄市中央1丁目2
電車:本庄駅[北口]から徒歩約10分



この埴輪は、平成10年の調査で、小島前の山古墳の石室より出土した、盾持人物埴輪です。特徴は頭頂部に筒状の飾りを有し、大耳や鷲鼻、しゃくれ顎を持ち笑う表情を有するたいへん貴重な資料であります。

平成22年には、本庄市のマスコットキャラクターにもなり、「はにぽん」と呼ばれ、市民に親しまれています。

また、平成24年に開催されたフランスパリ日本文化会館の「笑いの日本美術史縄文から19世紀まで」に出展し、話題となりました。

笑う埴輪

—わらう はにわ—

ご利益諸々、よろず相談

武州本庄七福神めぐり

ぶしゅうほんじょうしちふくじん

めぐり



泉林寺



開善寺



城立寺



佛母寺



慈恩寺



大正院



金鏡神社



安養院



円心寺

七福神めぐりは、平成15年に本庄駅北口の活性化を目的に始められ、旧中山道沿いを中心には在する9寺社に設置されています。距離は約4kmゆつくり歩いて2時間程度で廻れます。途中には、中山道の宿場町として栄えた本庄の面影が所々で見られます。開運を祈願して歩いてみませんか。

日蓮宗

鉢形山

城立寺

大黒尊

金鏡神社

惠比寿尊

金鏡神社

高野山真言宗

南陽山

泉林寺

寿老人

金鏡神社

開善寺

金鏡神社

金鏡神社

真言宗

曹洞宗

淨土宗

臨濟宗

真言宗

曹洞宗

金鏡神社

金鏡神社

金鏡神社

金鏡神社

金鏡神社

金鏡神社

金鏡神社

金鏡神社

金鏡神社

菅靈山自在院

慈恩寺

若泉山無量寺

安養院

金鏡神社



生命力与えてくれる大ケヤ木

城山稻荷神社

しろやまいまなりじんじや



県指定
天然記念物



アクセス
住所 埼玉県本庄市本庄3-5周辺
徒歩・本庄から徒歩約13分

城山稻荷神社は、弘治二年（1556）本庄城主の本庄宮内少輔実忠が、守護神とするため、西本庄の地より椿稻荷明神を城内に奉斎したといわれ。祭神は宇迦之御魂大神です。

天正十八年（1590）には、前田利家・上杉景勝の北国勢の南進によって落城し、徳川家康の関東入国に伴って家康の家臣、小笠原信頼が城主となり、社殿を再興したといわれております。現在の社殿は天保十五年（1844）六月に再建したものであります。

本庄城築城のおり、献木されたと伝わるケヤ木は、目通り周囲6.35メートル、高さ約30メートルで、県指定の天然記念物となつております。

児玉地域

豊かな自然の児玉地域。
パワースポットを
ご紹介。

心やすらぐ癒しの寺



長泉寺

—ちょうせんじ—

大用山長泉寺は、曹洞宗の寺院で文明4年（1472）に上州平井城主の関東管領上杉顯定（あきさだ）が創建したと伝えられている。江戸時代には、幕府より寺領として二十石の朱印状を賜っている。戦国時代には甲斐国武田氏により永禄13年（1570）の高札と永禄13年（1570）の武藏国鉢形北条氏の禁制の一通が所蔵されている。

所在地の骨波田（こつけた）は、太古に身駒川で暴れた大蛇の骨があつた所との伝説があり、骨波田の地名の起りにもなっている。また、境内にある藤は、「骨波田の藤」として有名で、埼玉県の指定文化財になつてている。

アクセス

住所:埼玉県本庄市児玉町高柳901
電車:JR八高線児玉駅から車で7分

骨波田の藤



境内にある藤（ムラサキナガフジ）は、樹齢はおよそ650年と推定されます。
(埼玉県指定天然記念物)



児玉三十三靈場三十一番札所
東国花の寺百ヶ寺埼玉四番

百觀音のご利益

児玉三十三靈場一番札所



児玉駅の南、約4キロメートルの中山間地域にある東小平は、かつて養蚕業が盛んな地域で、明治期に建てられた高窓づくりの養蚕農家が点在しており、「高窓の里」と呼ばれております。

その地域内にある真言宗豊山派の成身院は、関東管領の足利持氏の開基といわれ地方本山の寺格をもち、120ヶ寺の末寺を統管しております。成身院の百体觀音堂は、天明3年(1783)の浅間山の大噴火の犠牲者を供養するために、寛政4年(1792)に建立されました。外観は二階だが内部は二層の回廊造りで、一階に薬師・阿弥陀・釈迦如来の三仏。三階に西国33觀音、合わせて百觀音が祀られています。回廊が螺旋状になっていることから「さざえ堂」と呼ばれております。



百体觀音堂 明治21年にお籠り堂からの火災で觀音堂を消失。
明治43年に再建されている。



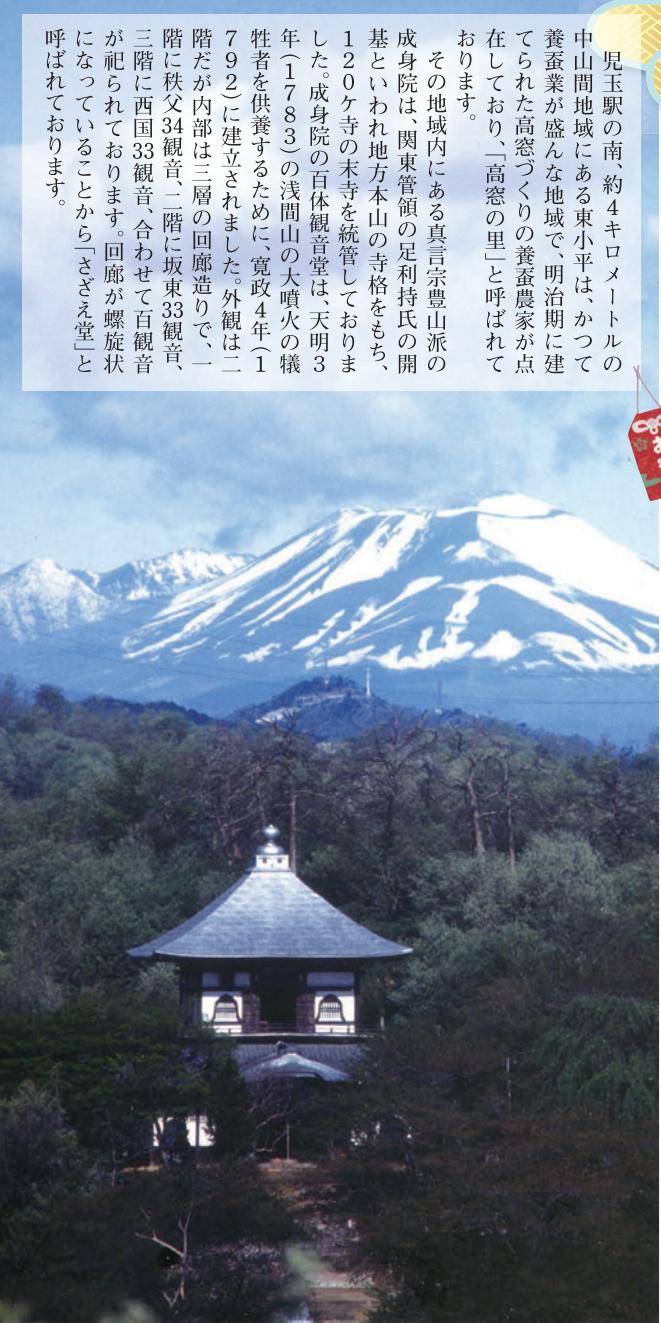
觀音堂三階の馬頭觀音と天井絵。上:薬師・阿弥陀・釈迦如來の三仏。鰐口 江戸の鋳物師、下:シャガの咲く觀音堂境内。西村和泉守 寛政7年の作。

アクセス

住所:埼玉県本庄市児玉町小平647

最寄り駅は、JR八高線「児玉駅」ですが、車をおすすめします。

平等山寶金剛寺成身院 —さざえ堂—



山紫水明 パワーストーン



岩谷堂 いわやどう



弘法大師伝説もある岩谷堂は、昔から広く知られた山岳宗教の聖地であります。天保11年(1840)に書かれた「信仰利生鏡」によると、金屋村真福寺の住職が毎月21日にここで天下泰平、風雨順次、五穀豊穣、万民安全の護摩を焚いたという記録があります。

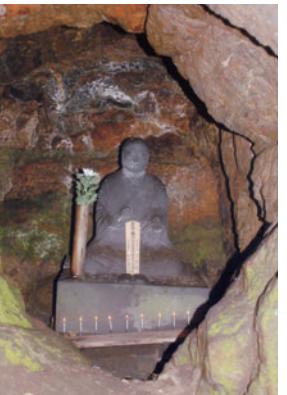
文政元年(1818)修行僧「淨嚴」が本食修行中に、中国の高僧「鑑真和尚」や「慧遠」が夢枕に立ち悟りを開き、紫雲窟精蓮社鎮西白正流一向専修念佛道場を開きました。

その後、淨嚴は群馬大田の大光院で「五重相伝」を受戒し、新潟佐渡へ渡り、日課念佛の布教と名号塔の建立に10年間奔走し、常陸の国江戸崎大念寺の37世、瓜連常福寺65世、相模の国光明寺92世、そして淨土宗總本山知恩院72世座主になったといわれております。

高僧淨嚴が悟りを開いた5月5日には、岩谷堂まつりが盛大に行われております。



毎年、5月5日に行われる岩谷堂まつり



奥の院



普明寺住職の法話



尺八九人会による演奏

住所:埼玉県本庄市児玉町小平

借金完済

借金なし地蔵尊

しゃつきんなしじぞうそん



住所:埼玉県本庄市児玉町小平

児玉町小平を流れる小平川の上流「不動滝」の脇に「借金なし地蔵尊」は鎮座しています。不動滝は落差2メートル余りで、檜の木の丸太に溝を彫った「かけひ」で流れを導いている。大きな岩場の上の平場には祠が祀られ天保12年（1841）の常夜灯があり、かつて滝に打たれて修行する人がおりました。

地蔵の台座正面に「借金なし地蔵尊」、左側面には「昭和7年7月24日実正堂」と刻まれていて、児玉町にある荒物屋の浅見実平さんが建立したものです。

不動明王への信仰心あつい実平さんが、不動滝の滝水に打たれ「借金返済」と願をかけ、借金返済の大願成就を果たした時、夢枕にお地蔵さんが現れ「借金なし地蔵」の建立と場所を指定したそうです。地蔵尊には帽子が被され、お賽銭もあげられ「借金完済」にあやかりたい人々が後をたたないありがたい地蔵尊であります。

児玉町小平を流れる小平川の上流「不動滝」の脇に「借金なし地蔵尊」は鎮座しています。不動滝は落差2メートル余りで、檜の木の丸太に溝を彫った「かけひ」で流れを導いている。大きな岩場の上の平場には祠が祀られ天保12年（1841）の常夜灯があり、かつて滝に打たれて修行する人がおりました。

地蔵の台座正面に「借金なし地蔵尊」、左側面には「昭和7年7月24日実正堂」と刻まれていて、児玉町にある荒物屋の浅見実平さんが建立したものです。

不動明王への信仰心あつい実平さんが、不動滝の滝水に打たれ「借金返済」と願をかけ、借金返済の大願成就を果たした時、夢枕にお地蔵さんが現れ「借金なし地蔵」の建立と場所を指定したそうです。地蔵尊には帽子が被され、お賽銭もあげられ「借金完済」にあやかりたい人々が後をたたないありがたい地蔵尊であります。

勝利の願い叶える

日本神社

にほんじんじや



サッカーワールドカップの男女に贈られた日本神社の祈願ダルマ

日本神社は、児玉町から県道287号線を間瀬湖に向かう途中の小高い山の頂に鎮座する。社伝によると、延暦10年(791)に、坂上田村麻呂が東征のときに、神武天皇に戦勝を祈願し、その後に創立したといわれ、神武天皇を主祭神としております。明治10年に、字内にあった桜木神社・稻荷神社・山の神・黒石神社・駒形神社・諏訪神社などを合祀して、日本神社と称しました。

「日本」の社名が付く神社は、神社庁の括下で唯一、国の名を冠した神社であります。



住所：埼玉県本庄市児玉町小平1-57-8

神仏の御加護



参道



標高367メートルの十二天山の山頂にある十二天社は、神仏混合の神社で、十二天堂とも呼ばれました。本地仏は大日如来で、日天、帝釈天、月天、風天、火天、円魔天、伊舍那天、羅刹天、毘沙門天、地天、梵天王、水天などの古代インドの十二の神々が祀られています。

「新編武藏風土記稿」には、平安時代の大同年中（806年～810年）の勧請で、那賀郡14ヶ村の総鎮守と記されており、近隣の崇敬があつかつたことがうかがえます。

江戸時代、十二天社は度々火災に会い、寛政11年（1799）に、総檼、こけら葺き、権現造りで再建され、棟梁は藤原富房。また、応永38年（1417）銘の那珂郡十二天鰐口が境内より出土しております。

住所：埼玉県本庄市児玉町秋山

十二天社

—じゅうにてんしゃ—

無病息災・火難除け



炎の中での火渡り

厄除御嶽山神社

やくよけおんたけさんじんじや

本庄市児玉町にある、厄除御嶽山神社は、
御嶽信仰に基づく神社であります。

長野県と岐阜県の県境にある、標高306
7メートルの御嶽山は、奈良時代から鎌倉時
代にかけて、熊野系の修験者の修行の場で、
宗教者のみ登拝が許される靈山でした。

寛政四年に(1792)開闢の祖といわれる
武藏国大滝(現秩父市)出身の普寛行者
が、御嶽山の王滝口を開いて以後、全国各地
に御嶽講社が設置され、御嶽信仰が広まりま
した。御嶽信仰とは、先祖の靈が宿る靈山の
信仰で、厄除御嶽山神社も、「御嶽山至誠講
社」が始まりで、児玉地域を中心の大里・秩父
地域や県内外からも「本町のおんたけさん」
と親しまれ信徒を集めています。

御嶽山神社の春祭り火渡りは、大護摩がた
かれた後無病息災と火難除けを祈つて行わ
れる荒行で、燃え盛る炎の中を渡る迫力は圧
巻であります。

アクセス

住所:埼玉県本庄市児玉町児玉282-12
徒歩:児玉駅出口から徒歩約10分

世を祝い疫病払う



住所:埼玉県本庄市児玉町小平

児玉町には、小平獅子舞と吉田林獅子舞の二つがあるが、小平獅子舞は、徳川中期の元禄年間に始められました。一、二番獅子は雄で作者不明だが、三番獅子の雌獅子は飛驒の名工左甚五郎作と言われる三頭一人立のささら獅子舞であります。

徳川三代将軍家光公が、日光東照宮造営の折り、全国から名人名工を集め、その中の甚五郎が眠り猫を刻んでおります。

日光東照宮完成後、江戸を始め関東の見物に廻り、秩父に来たところ、秩父神社が造営中で、社殿の龍を彫ったという。その後、皆野の農家に立ち寄り、幾日か世話になり、御礼に厄除けの獅子頭を作り、名も告げずに去つたといわれております。

その後、畑の作物が荒らされ獅子の仕業でないかと噂され、困り果てた持ち主は、誰かこの獅子を貰つてほしいという話を成身院四十二世覚桑上人が聞きつけ貰い受けできました。

しかし、小平に来ても野荒らしをするので、一大刀切りつけた。その後、魂が抜けた獅子の野荒らしはなくなつたという。この刀傷が獅子頭に残されております。

成身院の寺男の中に器用な男がいて、いろいろ工夫して現在の獅子舞が始められたという。

毎年4月3日、日本神社の春祭り、10月17日石神社の秋祭りに奉納しております。

小平獅子舞

こだいらししまい

知恵と記憶の学問授かる



塙保己一旧宅 《国指定史跡》



墓地

アクセス(生家)

住所:埼玉県本庄市児玉町保木野325

電車:JR八高線児玉駅下車徒歩約50分

盲目の国学者塙保己一は、延享3年（1746）5月5日、武藏国保木野村（現本庄市児玉町保木野）に生まれ、幼名は寅之助。病により7歳で失明、15歳の時に江戸に出て雨富検校須賀一の弟子となり、苦労を重ね「群書類從」666冊を編纂し、盲人社会の最高位、総檢校となります。

保己一が15歳で江戸に出来るまで育つた旧宅は、茅葺きの入母屋作りの養蚕住宅で、貴重な遺構であります。



はなわほきいち
塙保己一

国家安泰・厄除開運



住所:埼玉県本庄市児玉町児玉198

当社は、承永6年（1051）に源義家が父頼義に従い奥州安倍頼時と戦った時に、この地に斎場を設けて、石清水八幡宮を遥拝して戦勝を祈願し、康平6年（1063）に奥州を平定し、帰途に再び当地に寄り、白鳩峯東石清水八幡宮を勧請したと伝えられます。当初は児玉町八幡山に鎮座しておりましたが、戦国時代に雉岡城の築城を契機として、児玉町児玉の現在地に移転したといわれております。鎌倉時代には児玉党的児玉時国が深く当社を崇敬し、社殿を再建し代々信仰しました。延徳3年（1491）上杉氏の旗本夏目豊後守定基が八幡山城主となり、当社を武運守護の神として尊敬し神領を寄進、天正7年（1579）には、北条氏の横地左近忠春が、天正19年（1591）には、徳川氏の松平玄蕃頭清宗等が神領を寄進しております。

社殿は、本殿・幣殿・拝殿が連結した複合社殿で、時国より15代目に当たる久米六衛門が中心となり、享保7年（1722）に再建、棟梁は妻沼の伝兵衛で、彫刻は江戸の彫刻師五石衛門と茂右衛門等の名人の手によるものでした。天井の龍の絵は、狩野直信の作と思われます。

また、神社の正面の青銅鳥居は、享保11年（1726）下野国佐野の鋳物師井上治兵衛藤原重治と井上太郎左衛門重友の名工の作品であります。

八幡神社

— はちまんじんじや —

秋山の大魔羅様

子宝

秋山御嶽神社

あきやまみたけじんじゃ



この神社は、秋山にある飯島一族の氏神様で、古くから子孫繁栄、夫婦和合の神様として敬われ、秋彼岸に一族が集まり祭りを行つております。創建は定かではありませんが、安永年間（1772～1781）に奉納された石灯籠もあり、古くから信仰されていましたと思われます。

御神体は、神社の南側にある飯島家の神棚に安置されており、長さ57cm、太さ47cm、重さ23kgあり、石質も良く破損もしていないう石棒であります。

その形にならつてか、大小様々な木棒が人知れず奉納されております。この地域では、秋山の「おおまら様」と呼ばれ親しまれております。



住所：埼玉県本庄市児玉町秋山

摩訶般若波羅蜜多心經

兒玉三十三靈場

觀照見五蘊皆空度一切苦厄舍利子。

一 平等山成身院小平百体觀音



中興開山元照上人は12眷
大興寺も中興した。延永
元年(1394年)寂。百
体觀音堂二階建で、境内に
造りのさざえ堂の公開
は、3月15日～5月15日
(木曜日休)の10時～16時。
公開日以外の納経は
山門北隣の中野さん方
碑がある。

二如意輪山普明寺



開山昭珍法印は、慶安元
年(1661年)寂。寺の
南東の山中には、紫雲
窟青蓮社向導修念会道
場(岩谷洞)の遺品を伝え
る。岩谷洞には石仏百体
観音と護摩修行の洞窟遺
構がある。

三白雉山法養寺



建保元年(1213年)重
慶の開山。緑の樹木の中に
御本堂、鐘楼門、地蔵堂、
六角觀音堂が配す。兒玉
彰碑。臘梅、梅、白木蓮、
桜、牡丹、蓮、梅檀、ねじ
花、金木犀など四季の花
が楽しめる。



不四雉岡山玉藏寺



七吉祥山天龍寺



高麗系金屋いもじ铸造重
要文化財銅鏡門開上にあ
り、横顎(雉岡城主)の開基
の開基(塙戸田備後守墓
碑がある)。

八瀧龍寺別院長谷觀音堂



真言宗豈山派本山の奈良
県橿原市・長谷寺のある
御本尊十一面觀音の分身
を祀る。月十日の大祭と
節分に護摩供養。毎月十一
日に開帳する。

九大光山円通寺



自由民権論により結集し
た父國民衆の死難者供
養塔がある。極めて多い所
である。

五歡喜山寔相寺



六雉岡山淨眼寺



苦無無無無無

眼科医学、日本蘭学の祖、
寺の名にふさわしい大木。
カリンの実はかばせの葉、せ
んそく等効用がある

十一 戸田山直正寺



臨済宗圓覺寺派の禪寺に
ふさわしく、静寂、小鳥の
声っぽきの花は特に美し
い。四季折々の花が楽しめ
る。



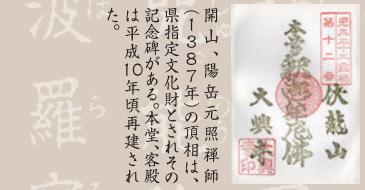
万治元年(1658)の創
立で、南北朝時代の武士
秋山新蔵人光政の開基。
十二天社ある本堂、客殿
あつた。新蔵人神社の別當
寺も兼ねていた。

十一 聖徳山本覚院



万治元年(1658)の創
立で、南北朝時代の武士
秋山新蔵人光政の開基。
県指定文化財とされその
記念碑がある。本堂、客殿
は平成10年頃再建され
た。境内最大の玄
地蔵様。高僧出入りの玄
関あり。

十二 伏龍山大興寺



開山、陽岳元照禪師
(1387-?)の頂相は、
山門前



万葉の遺跡那賀の滝井。
天平年間(729)、
749年領主松前商人
石前の開基という寺庭。藤
原期傑作木造阿弥陀如
来百体觀音四季を通じ
ての花が楽しめる。

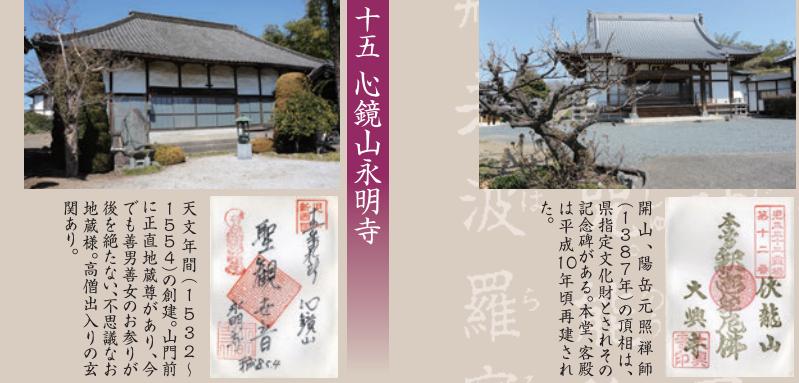


大型の宝篋印塔「天文5
年庚申(1740年)江戸
の石工師石屋六衛門作」
当地方では珍しい。

十二 戸田山直正寺



天文年間(1532-
1554)の創建。山門前
に正直地蔵尊があり、今
でも善男善女のお参りが
後を絶たない不思議なお
地蔵様。高僧出入りの玄
関あり。



弘長年間(1261-
1264年)の開基、板石
塔場婆・天神古國・十五仏
古図がある。

十三 広木山常福寺



弘長年間(1261-
1264年)の開基、板石
塔場婆・天神古國・十五仏
古図がある。



万葉の遺跡那賀の滝井。
天平年間(729)、
749年領主松前商人
石前の開基という寺庭。藤
原期傑作木造阿弥陀如
来百体觀音四季を通じ
ての花が楽しめる。



大型の宝篋印塔「天文5
年庚申(1740年)江戸
の石工師石屋六衛門作」
当地方では珍しい。

十四 稲荷山智德寺



天文年間(1532-
1554)の創建。山門前
に正直地蔵尊があり、今
でも善男善女のお参りが
後を絶たない不思議なお
地蔵様。高僧出入りの玄
関あり。



万葉の遺跡那賀の滝井。
天平年間(729)、
749年領主松前商人
石前の開基という寺庭。藤
原期傑作木造阿弥陀如
来百体觀音四季を通じ
ての花が楽しめる。



大型の宝篋印塔「天文5
年庚申(1740年)江戸
の石工師石屋六衛門作」
当地方では珍しい。

十五 心鏡山永明寺



弘長年間(1261-
1264年)の開基、板石
塔場婆・天神古國・十五仏
古図がある。



万葉の遺跡那賀の滝井。
天平年間(729)、
749年領主松前商人
石前の開基という寺庭。藤
原期傑作木造阿弥陀如
来百体觀音四季を通じ
ての花が楽しめる。



大型の宝篋印塔「天文5
年庚申(1740年)江戸
の石工師石屋六衛門作」
当地方では珍しい。

十六 見井山宗清寺



弘長年間(1261-
1264年)の開基、板石
塔場婆・天神古國・十五仏
古図がある。



万葉の遺跡那賀の滝井。
天平年間(729)、
749年領主松前商人
石前の開基という寺庭。藤
原期傑作木造阿弥陀如
来百体觀音四季を通じ
ての花が楽しめる。



大型の宝篋印塔「天文5
年庚申(1740年)江戸
の石工師石屋六衛門作」
当地方では珍しい。

十七 咸音山光嚴寺



弘長年間(1261-
1264年)の開基、板石
塔場婆・天神古國・十五仏
古図がある。



万葉の遺跡那賀の滝井。
天平年間(729)、
749年領主松前商人
石前の開基という寺庭。藤
原期傑作木造阿弥陀如
来百体觀音四季を通じ
ての花が楽しめる。



大型の宝篋印塔「天文5
年庚申(1740年)江戸
の石工師石屋六衛門作」
当地方では珍しい。

十八 諫訪山光勝寺



弘長年間(1261-
1264年)の開基、板石
塔場婆・天神古國・十五仏
古図がある。



万葉の遺跡那賀の滝井。
天平年間(729)、
749年領主松前商人
石前の開基という寺庭。藤
原期傑作木造阿弥陀如
来百体觀音四季を通じ
ての花が楽しめる。



大型の宝篋印塔「天文5
年庚申(1740年)江戸
の石工師石屋六衛門作」
当地方では珍しい。

十九 西光山宥勝寺



弘長年間(1261-
1264年)の開基、板石
塔場婆・天神古國・十五仏
古図がある。



万葉の遺跡那賀の滝井。
天平年間(729)、
749年領主松前商人
石前の開基という寺庭。藤
原期傑作木造阿弥陀如
来百体觀音四季を通じ
ての花が楽しめる。



大型の宝篋印塔「天文5
年庚申(1740年)江戸
の石工師石屋六衛門作」
当地方では珍しい。

二十 角折山正觀寺



弘長年間(1261-
1264年)の開基、板石
塔場婆・天神古國・十五仏
古図がある。



万葉の遺跡那賀の滝井。
天平年間(729)、
749年領主松前商人
石前の開基という寺庭。藤
原期傑作木造阿弥陀如
来百体觀音四季を通じ
ての花が楽しめる。



大型の宝篋印塔「天文5
年庚申(1740年)江戸
の石工師石屋六衛門作」
当地方では珍しい。

二十一 安樂山西福寺



弘長年間(1261-
1264年)の開基、板石
塔場婆・天神古國・十五仏
古図がある。

二十二 崇栄山陽雲寺

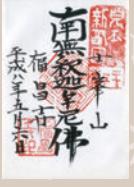


元弘3年（1333年）新
田義貞建立不動尊。義貞の
四天王煙能とその臣兒玉
光信の墓を始め、国指定文
化財銅鐘、武田晴信公室
寺開基陽雲院殿の墓碑町
指定文化財、親世音他4
点がある。武田の關係か、関
東に少く無本寺である。

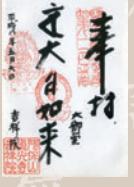


平安時代740年前、近
衛天皇の東宮に仕えた源
為義の子が帝刀の長となり
り、帝刀が生義賢と呼ば
れた。源義平と争い、此
地に死す。墓、碑がある。

二十三 士峯山福昌寺



二十四 阿保山吉祥院

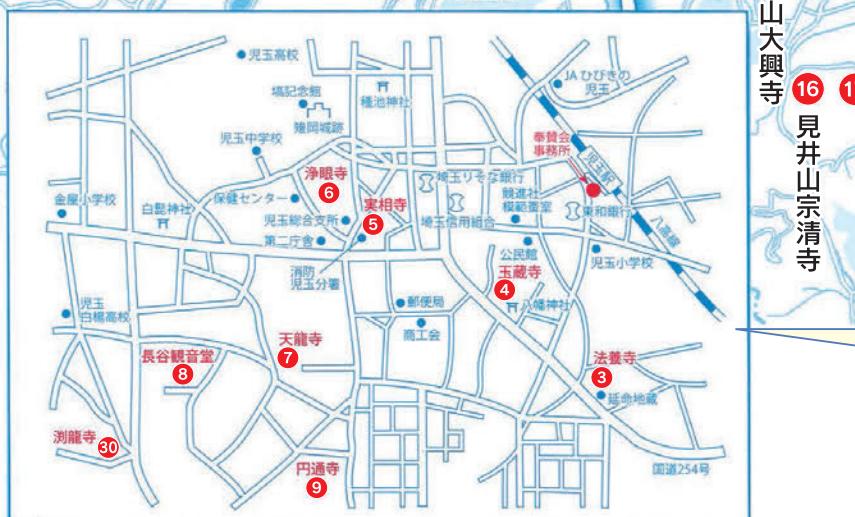


無

32



児玉三十三 霊場めぐり



- ③ 白雉山法養寺
- ④ 雉岡山玉藏寺
- ⑤ 歓喜山実相寺
- ⑥ 雉岡山淨眼寺
- ⑦ 吉祥山天龍寺
- ⑧ 渕龍寺別院長谷觀音堂
- ⑨ 大光山円通寺
- ⑩ 宝玉山渕龍寺